

事務事業評価調書

事務事業名	のびのび子育てプラザ施設管理事業				
担当部名	児童部	室課名	のびのび子育てプラザ	室課長名	宮 美智子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	民間のノウハウを活用し、市民サービスの一層の向上、より効果的な設置目的の達成及び効率的な管理を目指して、指定管理者制度を導入するため、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例を一部改正する。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	児童福祉法、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例他													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館のびのび子育てプラザの施設維持管理												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館のびのび子育てプラザの施設の適切な維持管理												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	来館者の安全確保及び事業の円滑な運営を通し、乳幼児の健全育成及び地域における子育て支援の基盤を形成する。													
(7)	事業概要	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館のびのび子育てプラザの施設維持管理業務(指定管理者施設管理)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	11	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		11,333	11,185	12,453	11,794	12,406							
		人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.60						
			総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,341	4,902						
		総事業費(A+B)		14,653	14,364	15,794	15,135	17,308							
		特定財源(C)		22	18	22	16	19							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	22	18	22	16	19							
		市負担(D)		14,631	14,346	15,772	15,119	17,289							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	14,631		14,346	15,772	15,119	17,289									
財源計(C+D)		14,653	14,364	15,794	15,135	17,308									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(財)大阪市青少年活動協会他										
				②											
				③											
		主な委託内容		施設の維持管理業務(清掃、警備等)											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 サークル交流室等施設貸出回数(専用使用許可件数)	目標値	(単位:回)	260.00	260.00	/
			実績値	(単位:回)	146.00	154.00	
		達成度(%)		56.2	59.2		
	目標値の積算方法 1週間あたり5回×52週	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	98.38	98.28		
			一般財源(単位:千円)	98.26	98.18		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 年間来館者数	目標値	(単位:人)	54,000.00	54,000.00	/
			実績値	(単位:人)	58,245.00	60,841.00	
		達成度(%)		107.9	112.7		
	目標値の積算方法 1日あたり150人×年間開館日数359日	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.25	0.25		
			一般財源(単位:千円)	0.25	0.25		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>のびのび子育てプラザの維持管理については、夢つながり未来館内の青少年活動サポートプラザ及び山田駅前図書館と連携し、指定管理者制度の導入など効率的な事業実施と施設の維持管理に努めており、従事人数も最小減に抑えることが出来ている。また、広報活動や要求に見合った事業を積極的に進めることにより年間来館者数も増加している。今後も、効率的な施設運営に努めていきたい。</p>				

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	279				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	のびのび子育てプラザ	事務事業番号	279
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>Radar Chart Data (Estimated)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価値	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	8
視点	評価値														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	8														
(3)現状分析	<p>のびのび子育てプラザは開館6年目を迎え、子育て支援の拠点施設としての認知も拡がり来館者数も目標値を大きく達成している。また、平成27年度実施した来館者アンケートでは利用についての満足度は89%で、ほぼ満足と合わせると99%と高評価となっている。このことは、施設管理が適切に行われており、来館者が安心してあそぶ環境が維持できていることにも繋がっていると判断している。事務事業については、未来館全体で連携を図りながら業務の円滑化と効率化に努めている。今後も効率的な施設運営に努めていきたい。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	のびのび子育てプラザ事業				
担当部名	児童部	室課名	のびのび子育てプラザ	室課長名	宮 美智子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年	改正内容	無				
(2)	直近の改正	無						
(3)	根拠法令等	児童福祉法、社会福祉法、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 1	細節 21			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	就学前の児童とその保護者及び子育て支援に関わっている市民・団体					
		目標(どういう状態にしたいのか)	地域での孤立した子育てを無くし、子育て中の市民の育児不安・負担感の軽減を図る。また、子育て支援に関わる人材育成を通じ、地域での子育て支援の基盤を構築する。					
	結果(どのような効果が得られるのか)	地域における閉塞した育児環境の解消や保護者の育児負担が軽減されるとともに、子育て支援を受けた保護者が子育て家庭を支援する側にまわり、地域全体で子育てを支援しあう基盤が構築される。						
(7)	事業概要	<p>通年で実施している自由参加の親子教室(年齢別)や出張型育児教室を開催し、在宅の子育て家庭への援助を行うとともに、子育て・子育て支援に関する講座を実施し、子育てのノウハウの提供を行う。また、地域で活動している子育て支援者の育成支援及びネットワークの構築を進め、子育て中の市民同士の交流の場を提供や、専門職のロビーワーカー(保育士・看護師)による子育て相談や子育てに関する情報提供も行う。さらに、市内で活動している子育てサークルの交流会・研修会を開催し、子育てサークルのネットワークの構築を図る。</p>						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 3	項 2	目 11	大事業 3	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		22,642	21,507	23,502	22,573	23,896
		人件費	職員数 人	1.20	1.20	1.20	1.20	2.00
			総額(B) 千円	9,960	9,537	10,023	10,023	16,340
		総事業費(A+B)		32,602	31,044	33,525	32,596	40,236
		特定財源(C)		8,065	9,236	6,210	9,300	6,549
		(内訳)	国	3,986	4,569	3,057	4,605	3,225
			府	3,986	4,569	3,057	4,605	3,225
			その他	93	98	96	90	99
		市負担(D)		24,537	21,807	27,315	23,296	33,687
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	24,537		21,807	27,315	23,296	33,687		
財源計(C+D)		32,602	31,043	33,525	32,596	40,236		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 年齢別親子教室(通年開催)開催回数	目標値	(単位:回)	240.00	240.00	220.00	
			実績値	(単位:回)	189.00	179.00		
			達成度(%)		78.8	74.6		
	目標値の積算方法	週4回(年齢別)×4週×12月【あかちゃんひろば(週2回)、あそびのひろば(週1回)、おとうさんとあそぼう(週1)】	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		164.25	182.10	
				一般財源(単位:千円)		115.46	130.15	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 年齢別親子教室(通年開催)参加人数	目標値	(単位:人)	14,400.00	14,400.00	11,520.00	
			実績値	(単位:人)	9,786.00	9,288.00		
			達成度(%)		68.0	64.5		
	目標値の積算方法	週4回(年齢別)×4週×12月×親子30組(60人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.17	3.51	
				一般財源(単位:千円)		2.23	2.51	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		事業の運営には、資格を有する保育士や看護師を非常勤職員・臨時雇用員として配置し、事業内容の充実と経費の抑制に努め、効率的な運営を行っている。本事業の目的は、地域での孤立した子育てを無くし、子育て中の市民の育児不安や負担感の軽減を図るとともに、子育て支援を受けた市民が次に支援する側にまわり、地域全体で子育てを支援しあう基盤形成を構築するものである。子育てに対するニーズの多様化を受け、本事業に求められる市民の要求は高く、今後も増大していくものと予想している。また、平成28年度からは「利用者支援事業」を実施する中で、より広く市民のニーズを把握し必要な支援をすすめることが重要であると考えている。市民との協働での運営という観点から、将来的な事業の担い手の検討や受け皿団体の育成支援も必要であるが、事業の担い手が育つまでは、行政が責任をもって継続的に運営していくべきだと考えている。					

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ事業	事業区分	その他
事務事業番号	280				

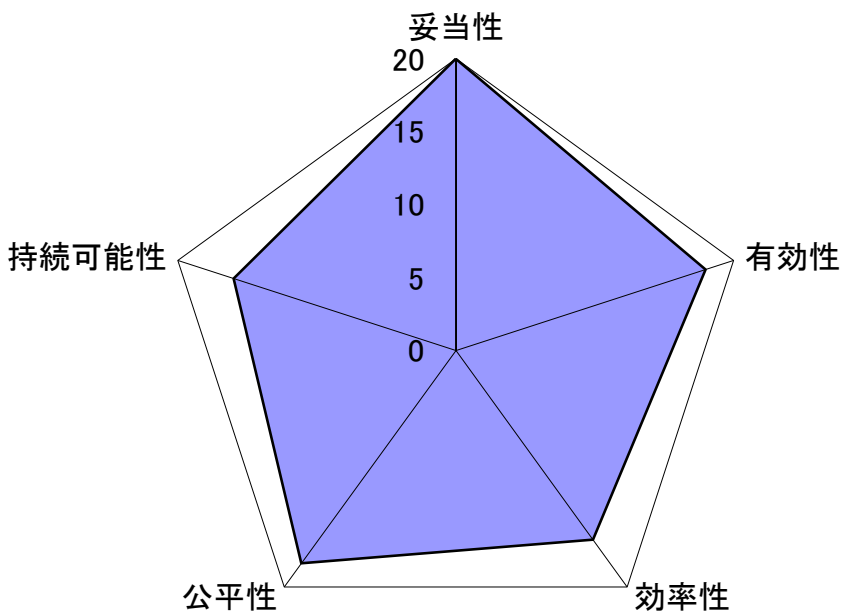
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	のびのび子育てプラザ	事務事業番号	280
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>のびのび子育てプラザは子育て支援の拠点施設として、地域子育て支援センター等関係機関の連携の中心的役割を果たし、子育て支援のネットワークを構築することが求められている。同時に、子育て中の親子が気軽に立ち寄ることができ、子育て情報の収集や友だち作りの場としての役割も求められている。近年、子育て中の親のニーズは多様化し産後2、3ヶ月からの負担感も大きく、平成27年度はそういったニーズに対して親子教室等の開催方法の改善を行った。また、子育てに関する相談も増加傾向にあり、内容によっては保健センターや保育園等との連携も進めてきた。今後は、利用者支援事業として情報の発信を積極的に行いながら、関係機関との連携を密に取り組みを進めていく。事業内容の特性から、数値で成果を図ることは困難な面もあるが、概ね単位当たりのコストに見合った成果を上げていると評価しているが、他市の同様の事業との比較検討も進めていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	一時預かり事業				
担当部名	児童部	室課名	のびのび子育てプラザ	室課長名	宮 美智子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正 内容	利用児童定員を6人/日から10人/日に拡充する(要綱改正。平成27年4月1日施行)。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市のびのび子育てプラザ一時預かり事業実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	保護者の育児負担の軽減やリフレッシュ、傷病等のため、一時的に保育が必要となった就学前の児童											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	のびのび子育てプラザ内保育室「たんぽぽルーム」で一時的に保育を行い、必要な保育を行う。												
(7) 事業概要	保護者の育児負担の軽減、リフレッシュ等の理由により一時的に保育が必要な場合、また、保護者の傷病等により家庭での保育が一時的に困難になった児童をのびのび子育てプラザ内の保育室で一時的に預かり、必要な保育を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	11	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,256	6,202	13,312	12,120	12,533							
	人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70							
		総額(B)	千円	5,810	5,563	5,847	5,847							
	総事業費(A+B)		12,066	11,765	19,159	17,967	18,252							
	特定財源(C)		4,441	5,589	8,113	8,081	8,371							
	(内訳)	国	946	1,366	1,786	1,786	1,786							
		府	946	1,366	1,786	1,786	1,786							
		その他	2,549	2,857	4,541	4,509	4,799							
	市負担(D)		7,625	6,176	11,046	9,886	9,881							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		7,625	6,176	11,046	9,886	9,881								
財源計(C+D)		12,066	11,765	19,159	17,967	18,252								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)関西環境センター										
			②											
			③											
	主な委託内容		職員検便業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	一時預かり事業延べ利用児童数	目標値	(単位:人)	1,440.00	2,500.00	2,856.00
			実績値	(単位:人)	1,500.00	2,418.00	/	
				達成度(%)		104.2		96.7
	目標値の積算方法	利用児童数1日利用6人×月20日×12月 半日利用8人×月20日×12月 ×充足率85%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.84		7.43
				一般財源(単位:千円)		4.12	4.09	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	一時預かり事業保育定員充足率	目標値	(単位:%)	80.00	80.00	85.00
			実績値	(単位:%)	81.10	84.50	/	
				達成度(%)		101.4		105.6
	目標値の積算方法	定員10人に対し、1日8.5人の利用	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		145.06		212.63
				一般財源(単位:千円)		76.15	116.99	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		定員充足率の推移から見ても、本事業に対する市民ニーズは極めて高い。また、「育児負担の軽減」を理由に利用する人の割合が年々増加していることから、本事業が児童虐待の予防としても重要な役割を果たしているといえる。そのため、平成27年度から利用児童定員の拡充及び従事職員の増員を行い、保育の質及び市民サービスの向上に努めている。今後も多様化する保育ニーズを受け、本事業の重要性は一層高まるものと予想されるが、利用状況のホームページ上での公開や申し込み方法の簡素化など市民の利便性の向上に努めたい。					

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	281				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	のびのび子育てプラザ	事務事業番号	281
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>利用者の予約が取りにくいとの声から、平成27年5月より定員を6名から10名に増やして実施。延べ利用児童数もほぼ目標値となっており要求の高さがうかがえる。また、利用理由の大半が、育児負担の軽減やフレッシュであることから児童虐待の予防等子育て支援施策の中でも効果の高い、優先して実施すべき事業であると考え。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業				
担当部名	児童部	室課名	のびのび子育てプラザ	室課長名	宮 美智子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館の開館に伴い、ファミリー・サポート・センター事務局を、本庁舎内子育て支援課からのびのび子育てプラザ内に移転し、事業運営を行う。											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	ファミリー・サポート・センター事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域において子育ての援助ができる20歳以上の市民と、3か月から小学校6年生までの子どもを子育て中で、子育ての援助を受けたい市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	上記の市民をファミリー・サポート・センターの会員として組織し、会員間で子育てに関する相互援助活動を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	子育ての相互援助活動を通じ、「地域での子育て支援の基盤形成」、「仕事と家庭の両立支援」、「男女共同参画社会の形成」及び「児童の健全育成」を図ることができる。													
(7)	事業概要	地域において子育ての援助ができる市民と援助を受けたい市民をファミリー・サポート・センターの会員として組織し、子育ての相互援助活動を行う。センターは市民が会員になるための講習会や保育の質の向上に資する研修会(救命講習等)を実施する。また、援助を受けたい依頼会員からの依頼を受け、適切な援助会員の紹介を行うなど会員間のマッチングを行う。援助を受けた依頼会員は規定の報酬を援助会員に支払い、援助会員は活動報告書をセンターに提出する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	11	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		7,655	7,465	7,731	7,655	7,265							
		人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70						
			総額(B)	千円	5,810	5,563	5,847	5,847	5,719						
		総事業費(A+B)		13,465	13,028	13,578	13,502	12,984							
		特定財源(C)		5,112	5,038	5,188	5,189	4,852							
		(内訳)	国	2,543	2,545	2,568	2,585	2,413							
			府	2,543	2,473	2,568	2,585	2,413							
			その他	26	20	52	19	26							
		市負担(D)		8,353	7,990	8,390	8,313	8,132							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	8,353		7,990	8,390	8,313	8,132									
財源計(C+D)		13,465	13,028	13,578	13,502	12,984									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	入会講習会参加者数	目標値	(単位:人)	520.00	520.00	455.00
			実績値	(単位:人)	372.00	408.00	/	
		達成度(%)		71.5	78.5			
	目標値の積算方法	年間講習会開催数13回×35人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		35.02		33.09
				一般財源(単位:千円)		21.48	20.38	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	相互援助活動件数	目標値	(単位:件)	6,424.00	6,500.00	6,420.00
			実績値	(単位:件)	5,538.00	5,386.00	/	
		達成度(%)		86.2	82.9			
	目標値の積算方法	年度末会員数(依頼会員・両方会員・援助会員の合計)×2件	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.35		2.51
				一般財源(単位:千円)		1.44	1.54	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		ファミリー・サポート・センター事業は核家族化・共働き家庭の増加に伴い、子育て中の市民の多様なニーズに柔軟に対応できるシステムであり、本事業に対する市民ニーズは高く、利用者の満足度も高い。しかし、近年会員数は横ばいの中、援助をする会員の減少もあって活動件数も減少傾向にある。市民ニーズに対応するためにも広報活動の強化等で援助会員の増加を図る必要があると考える。運営については、会員数のマッチングを担うアドバイザーを臨時雇用員(保育士等)で対応するとともに、相互援助活動についても市民が主体となっているため、低コストで事業運営を行っていると考えている。今後、より効果的・効率的な事業運営の実現と市民協働の推進という観点から、運営の民間自立型への移行を検討する必要があるが、相互援助活動中の安全性の確保や事業内容の質を向上させていくためには、引き続き、行政として一定の関与が必要と考えている。					

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	282				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	のびのび子育てプラザ	事務事業番号	282
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>ファミリー・サポート・センター事業は、地域において育児の援助ができる市民と援助を受けたい市民を会員として組織し、子育ての相互援助を行うもので、市民の力を活用しながら運営ができました、会員宅での保育を行うため低コストで継続的かつ効率的な運営が可能な事業である。安心安全に援助活動ができるために、研修制度の充実を図る中で事故やケガ等も発生していない。今後、民間自立型への移行の検討も必要であるが、受け皿の育成が進んでおらず当面は直営事業として継続するべきと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)